

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎・運動器・生活環境支援（地域・予防・支援工学）理学療法				
学位	学士（社会学）、博士（医学）				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学（博士課程）修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	（公社）日本理学療法士協会（代議員）、（公社）埼玉県理学療法士会（表彰委員会委員長）、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会（副理事長）、日本予防理学療法学会（評議員）、日本理学療法学会連合（財務委員長）				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	長下肢装具の有無が静的立位時の重心動揺と前顔面のアライメントに与える影響	共著	あり		支援工理学療法学会誌3巻1号、p13-21	小野塚雄一、井上和久	2023.9
2	回復期リハビリテーション病棟の脳卒中片麻痺者における長下肢装具の膝継手の違いがカットダウンに与える因子の特徴	共著	あり		支援工理学療法学会誌3巻2号、p71-78	小野塚雄一、井上和久	2024.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	体組成計の機種別測定差について	共同		第10回日本予防理学療法学会学術大会、北海道函館市	○井上和久、小野塚雄一	2023.10	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法症候障害論（博士後期課程）		2	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義「運動器障害(下肢)におけるバランス機能と介入効果」を実施した。			
2	日常生活活動分析学	○	8	主に授業は、パワーポイントを使用した講義を実施し、体験学習（車椅子乗車・介助）も実施した。			
3	リハビリテーション看護		1	看護学科の授業：リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持を目指した理学療法士によるリハビリの実際」担当。主に授業は、パワーポイントを使用した講義を実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行った。また、トランスファー（介助方法）についても一部実技を実施した。			

4	理学療法応用技術学A(予防・老年)	○	8	主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施した。
5	看護学概論		1	健康開発学科の授業：看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った。
6	義肢装具学		4	主に授業は装具について講義し、パワーポイント使用した講義を実施した。
7	理学療法セミナーⅠ (OSCE1)		8	SP(高齢者)を利用し、主として科目の準備・運営を行った。
8	理学療法セミナーⅡ (OSCE2)		8	SP(理学療法士)を利用し、主として科目の準備・運営を行った。
9	リハビリテーション教育学Ⅱ(博士前期・後期課程)		2	「臨床実習の手引き(PT)」「OSCEの課題作成」における授業資料をPPTで作成し、WebClass上に資料をアップし講義を実施した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法症候障害演習(博士後期課程)		3	主に授業は、Webによる演習「装具の運動学的・運動力学的研究法」を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床教育実習Ⅰ		2024.2.19~2024.3.2	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技および介助、治療の見学と体験について確認・指導した。また、実習終了後報告会を実施した。
2	臨床教育実習Ⅱ		2023.9.25~2023.10.28	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技をクリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、見学と実践について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。また、担当学年として実習前後のリエンション及び手続等の準備を実施した。
3	臨床教育実習Ⅲ		2023.4.17~2023.6.10	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般(評価と治療)について一連の過程を実践の場で学習した内容について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		2023.6.26~2023.7.29	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般(評価と治療)および医療的リハビリテーションから地域リハビリテーション領域への一連の流れにおける理学療法の実践課程について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
5	IPW実習		2023.4~2023.10	IPW科目責任者会の教員・施設担当の教員担当リーダーとして科目の準備・運営を実施した。また、地域担当教員(東部(埼葛南)①)として、3施設5チームを担当し、報告会等の準備・運営を実施した。
6	義肢装具学実習		24	授業において、実習形式で行い、義足・装具について、模擬義足体験や簡易型SHB作成などを実施した。また、切断者(4名)モデルの方に来ていただき、断端評価や義足評価を8グループに分かれ実施した。
7	日常生活活動指導実習	○	24	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した。また、介護福祉機器展示場に同行し、介護福祉機器の説明を実施した。
8	義肢・装具学実習		2	作業療法学科の授業：義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、パワーポイント使用した授業を実施した。

(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	該当なし		主指導		副指導
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	担当ゼミの打ち合わせ	2023.4～2024.3	1年生5名、2年生5名、計10名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った（年数回）。		
2	水戸メディカルカレッジ：装具学・義肢学講義	2023.4～2023.11	装具学・義肢学の講義（対面）について実施した（30コマ）。		
3	埼玉県立大学大学院修士論文審査会	2024.2～2024.3	修士論文：1名（主査）		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	埼玉未来大学（東部学園）	埼玉未来大学	心をつなぐコミュニケーション		2023.4
2	埼玉未来大学（中央学園）	埼玉未来大学	心をつなぐコミュニケーション		2023.5
3	埼玉未来大学（中央学園）	埼玉未来大学	楽しく体力アップ		2023.5
4	埼玉県立大学 オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	健康のために取り組む生活習慣病の対策		2023.5
5	埼玉県立大学2023年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」	埼玉県立大学	多職種のためのチームビルディング研修（2日間）		2023.6 2023.7
6	2023年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学	プラスチック短下肢装具製作の実践－陰性・陽性モデル作製まで－		2023.8
7	埼玉県立大学2023年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」	埼玉県立大学	多職種チームによる実践事例研修（3日間）		2023.10 2023.11
8	埼玉県立大学 高校出張講座（埼玉県立羽生第一高等学校）	埼玉県立大学	脳卒中とリハビリテーション		2023.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	(公社) 日本理学療法士協会	代議員		2020.6～現在	
2	(公社) 日本理学療法士協会	議事運営委員		2020.6～現在	
3	(一社) 日本地域理学療法学会	理事（副理事長）		2021.6～現在	
4	(一社) 日本理学療法学会連合	研究安全・学術倫理委員会 委員		2021.6～現在	
5	(一社) 日本理学療法学会連合	研究安全・学術倫理委員会倫理審査部会 審査員		2021.6～現在	
6	(一社) 日本理学療法学会連合	財務委員会：委員長		2021.6～現在	
7	(一社) 日本予防理学療法学会	評議員		2021.8～2025.7	
8	(一社) 日本予防理学療法学会	編集委員		2021.9～現在	
9	補装具支援のあり方研究会	世話人		2022.4～現在	
10	専門リハビリテーション研究会	運営審議員		2022.4～現在	
11	(一社) 日本地域理学療法学会	第10回日本地域理学療法学会学術大会：相談役		2023.1～2024.3	
12	(一社) 日本予防理学療法学会	日本予防理学療法学会雑誌：投稿論文査読（2編）		2023.4～2024.3	
13	埼玉県総合リハビリテーションセンター	講師（入院患者及び外来患者に対する理学療法訓練の指導・助言等）		2023.4～2024.3	
14	(公社) 埼玉県理学療法士会	理学療法－臨床・研究・教育：投稿論文査読（1編）		2023.4～2024.3	
15	(一社) 日本予防理学療法学会	第10回日本予防理学療法学会学術大会：演題査読		2023.6	
16	(公社) 埼玉県理学療法士会	表彰委員会：委員長		2023.7～現在	
17	(一社) 日本支援工理学療法学会	第12回日本支援工理学療法学会学術大会：演題査読		2023.9	
18	(一社) 日本地域理学療法学会	第10回日本地域理学療法学会学術大会：演題査読		2023.9	
19	(一社) 日本予防理学療法学会	第10回日本予防理学療法学会学術大会：座長		2023.10	
20	(公社) 埼玉県理学療法士会	若手会員：研究活動支援（研究ゼミ事業）		2023.11～現在	

21	(一社) 日本予防理学療法学会	第8回日本予防理学療法学会サテライト集会：演題査読	2024.1
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会	2023.4～2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修センター(仮)	2023.4～2024.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会	2023.4～2024.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	IPW科目責任者会	2023.4～2024.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	入試(推薦・社会人・前期)	2023.4～2024.4
6	学科等における委員会等	専門基盤・PT・OT情報交換会	2023.4～2024.3
7	学科等における委員会等	学科長補佐	2023.4～2024.3
8	学科等における委員会等	学科会議・業務会議	2023.4～2024.3
9	学科等における委員会等	学科会議：司会	2023.4～2024.3
10	学科等における委員会等	3年生副担任	2023.4～2024.3
11	学科等における委員会等	予算執行帳簿管理・監査者	2023.4～2024.3
12	学科等における委員会等	臨床実習指導者講習会：運営担当	2023.4～2024.3
13	大学広報活動	大学見学：茨城県立境高等学校 1年生	2023.10
14	大学広報活動	大学見学：越谷南高等学校 2年生	2023.10
15	大学広報活動	大学見学：川越南高等学校 1年生	2023.11
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		